

秋田市教育委員会
会 議 録

平成30年12月定例会

秋田市教育委員会平成30年12月定例会会議録

1 日 時 平成30年12月27日(木)
午後3時30分～午後4時50分

2 場 所 5-A会議室

3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員

4 出席職員 教育次長
教育次長
学校適正配置推進室長
総務課長
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
学校適正配置推進室参事
生涯学習室長
総務課長補佐
総務課副参事
総務課副参事
学事課長補佐
学事課副参事
学校教育課長補佐
生涯学習室長補佐
総務課主席主査
教職員室主席主査
生涯学習室主席主査
総務課主査

学事課主査
教職員室主査
総務課主任
総務課主任

5 議 題

【付議案件】

議案第28号 秋田市立小、中学校管理規則の一部を改正する件

【協議事項】

- (1) 平成30年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について
- (2) 平成31年度全国学力・学習状況調査への参加について

【教育長等の報告】

- (1) 平成30年11月市議会定例会の審議状況について
- (2) 平成30年度「新成人のつどい」の警備について

6 議 事 午後3時30分開会

【平成30年11月定例会会議録の承認】

平成30年11月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【付議案件】

議案第28号 秋田市立小、中学校管理規則の一部を改正する件

教育長 議案第28号「秋田市立小、中学校管理規則の一部を改正する件」について、事務局から説明願う。

学事課長 (資料に基づき説明)

委員 国の臨時特例交付金を活用したエアコン設置は市の負担が大きいため、代替案として夏休みを増やすという経緯か。

学校教育課長 この件は、子どもの健康の安全管理という視点から、熱中症対策として始まったものである。統計を確認したところ、真夏日は7月中旬から下旬に多いということがわかり、

夏休みの開始時期を早めることの検討があった。

委員 短期間に話が起こり、短期間に決まった印象があるが、現場の校長先生の受止め方はどうであるか。具体的な要望等があり、その上での改正なのか。

学校教育課長 原案を策定したのは9月であり、校長会に情報提供を行い、10月中旬から下旬までの半月ほど意見集約する時間を設けた。小学校長会からは、問題なしとの回答であった。中学校長会からは、夏休みを早める時期に県の大会があり、その兼ね合いを心配する声があったが、中学校体育連盟に確認したところ、問題なしとの回答を得ている。

教育次長 エアコンの1次補正に係る試算をしたのは秋以降である。夏休みを前倒しするという件はそれ以前からあり、別個に協議していたものである。

委員 この件とエアコン設置の件は、別件というのはわかったが、夏休みを早めたからエアコンを設置しないという話ではない。現場からはエアコンを設置してほしいという要望がある。今後も議論する場は必要であり、事務局で方向性を見出してほしい。

総務課長 今回の国の特例交付金は、平成30年度限りであるが、従来の学校環境改善交付金の活用を前提として、平成32年度に予定している学校施設長寿命化計画の見直しの中で、普通教室へのエアコンの設置を改めて検討したい。

※ 議案第28号については、全員賛成により、議決された。

【協議事項】

(1) 平成30年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について

教育長 協議事項(1)について事務局から説明願う。

教職員室長 (資料に基づき説明)

教育長 今年度の学校訪問を振り返り、委員から感想や意見はあ

るか。

委員

印象に残っているのは、太平山自然学習センターまんだらめの訪問である。子どもたちの活動を実際に見て、子どもたちにとって大切な活動の場であることがわかった。

また、年々、支援を要する子どもが増えているように感じた。学級生活支援サポーターが入らないといけないのに入れなかったりするなど、学校現場では対応に苦慮しているという話を聞き、支援を要する子どもへの対応が年々大変になっていると実感した。

日程については、受入れ側の事情もあるだろうが、秋に集中させずに、希望としては均等にしてほしい。

教育長

今年度は、10月31日から11月28日の約1か月間に訪問が集中したが、事務局は委員の意見に対応できるか。

教職員室長

来年度は、各校の状況や委員と調整の上、幅広く対応していきたい。

委員

全ての学校を訪問したわけではないが、校長の考えによって、学校運営が変わる印象を受けた。

また、中学校を訪問し、教職員の多忙化を実感した。中学校の教職員は、部活動や学校生活、場合によって家庭のことなど様々なことに対してケアする必要がある、小学校とは違う事情もあるだろう。教職員がきめ細かいところまでケアしてくれることから、保護者も安心して学校に送り出せるという期待もある。

教職員との懇談をもとに、現場の意見を吸い上げるなどしながら、教育委員会の活性化につなげていきたい。

教育長

中学校教職員の多忙化の話があったが、現在の取組や対応について事務局から説明願う。

教職員室長

今春、部活動のガイドラインが策定され、それに基づき、活動時間は平日2時間、土日3時間とし、休養日は平日1日、土日どちらか1日を設けることとしている。

また、多忙化の解消に向けて、現在、全ての小中学校に

対し、多忙化に関する調査を行っている。集計中であるが、昨年度よりも30分程度勤務時間が縮まっている。今後、秋田市教育委員会として、多忙化防止計画を策定し、今年度中に各校に示していきたい。

委員

各校の校長から、学校経営の方針等について説明を受け、しっかりと子どもを教育していると感じた。体育の授業などではタブレットを使って体の動かし方を学習するなど、自分の子どもが教育を受けていたときと比べ、進んでいると感じた。また、子どもたちが真面目に落ち着いて授業に取り組んでいる光景に好感をもった。

その一方で、空き教室が目立ったり、1教室当たりの子どもの数が少ないなど、少子化が非常に目についた。そのしわ寄せとして、子どもが自主的に部活動を選べないのは残念である。

委員

学校訪問については、これまでの変遷を感じた1年であった。年を追うごとに、各校が学力向上に取り組んでいる成果が見られ、授業の組立てや板書、ノート指導など授業自体が子どもたちにとって、より主体的に取り組み、1単位時間の学びが明確化して積み重ねていけるようになってきており、全体が望ましい方向に向かってきていた。しかし、今年は、そうした一方で、いまだに改善が図られていない授業が一部あった。

訪問校の「学校経営の重点」の回答結果を見ると、学力の向上に重点を置く学校数が減り、教職員の資質向上に重点を置く学校数が増えている。各校の学校経営の流れとして、学力向上については、ある程度の基準を設け、その基準をある程度達成したとして、教職員の資質向上に切り替わってきているのかもしれない。

懇談会の話題では、特別支援教育の回数が増えている。学級生活支援サポーターの派遣が増えているのは把握しているが、現場では間に合っていない実情にある。特別支援

学級に入った子どもが学習や生活で頑張りを出せば、自分の子どもを特別支援学級に入れて成長させたいという保護者も増えるのではないか。

教育長 教職員の資質の向上が話題に挙がったが、大量退職が目前に迫っている中、授業を行っている中心が50代の先生であり、これまでの知見を後輩に引き継いでいこうとする学校の意識がうかがえる。懸念は、授業づくりで型が優先となっていることである。汎用性がある型であるが、そればかりが優先されると子どもが置き去りになる。

また、各校の校長は特色を出した学校経営を行っており、多くの先生がその考えを反映させようとしている。

(2) 平成31年度全国学力・学習状況調査への参加について

教育長 協議事項(2)について事務局から説明願う。

教育研究所長 (資料に基づき説明)

委員 調査については、是非参加してもらいたいが、英語の調査では、機器トラブルが懸念される。機器を使って一斉に行う調査については事前に十分な検証を行ってもらいたい。

教育研究所長 国が実施した予備調査の集計によると、校内スピーカーやパソコンの不備等、1割程度のトラブルがあった。本市では、予備として1割程度のパソコンを整えて対応する。

教育長 聞くことの調査では校内放送を使用し、話すことの調査ではパソコンを使用するということか。

教育研究所長 そのとおりである。話すことの調査では、学級単位でコンピューター室に移動する。

なお、話すことの調査については、今年度は国の特例措置として、学校ごとに成績が公表されることはなく、全国結果のみが公表され、実施した学校に個別の結果が送付されることとなっている。

委員 話すことの調査の回答時間は適切か。

教育研究所長 簡単な設問の回答時間は10秒ほどで、会話の中で質問を投げかけるなどといった考える時間を要する設問では1分間の回答時間が与えられる。設問により回答時間は異なるが、回答時間が保証されていると認識している。

※ 協議事項(2)については、以上のとおり終了した。

【教育長等の報告】

(1) 平成30年11月市議会定例会の審議状況について

総務課長 11月28日から12月20日までの期間で開かれた11月市議会定例会における教育委員会関係の審議状況について報告する。

前回の定例会においても説明したが、11月市議会定例会では施設の維持管理業務など、来年度当初からの業務を円滑に執行するために設定した債務負担行為に係る補正予算案について、12月12日に行われた予算決算委員会教育産業分科会において審議され、20日に行われた本会議において原案どおり可決された。

また、12月12日の教育産業委員会では、市立小中学校普通教室へのエアコン設置について、国の臨時特例交付金を活用した設置を見送ったことや、熱中症対策として夏季休業期間の拡大について検討中であることなどを報告した。

※ 平成30年11月市議会定例会の審議状況については、以上のとおり終了した。

(2) 平成30年度「新成人のつどい」の警備について

教育長 事務局から説明願う。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

教育長 式典前からメインステージ前には、アトラクション用の

機材等が設置されているということか。

生涯学習室長 そのとおりである。当日は秋田吹奏楽団の演奏があり、
椅子や譜面台をおいた状態で式典を開始する。

※ 平成30年度「新成人のつどい」の警備については、以上のとおり終了した。

【その他、今後の日程についての報告】

教育長 今後の日程等について、事務局から報告を願う。

総務課長補佐 今後の日程について、1月定例会は1月24日（木）午後
3時30分からの開会を予定している。

教育長 1月定例会は1月24日（木）午後3時30分からの開会を
予定している。委員の皆様、日程調整をよろしく願います。
る。

午後4時50分閉会